

検体採取方

検体採取キット (腔スワブ)

キットの内容

ドライスワブ (1本)	検体輸送液入り容器 (1本)	吸水シート入り返送用袋 (1袋)
 イラスト表示	 イラスト表示	

1

ドライスワブ



5cm程度

腔内に挿入し
10～30秒回転

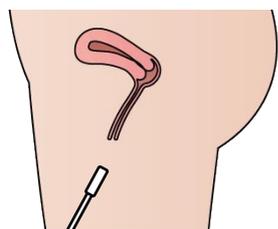


検体を採取する

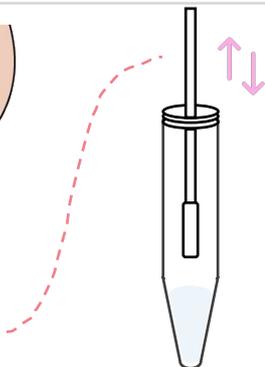
本品に付属のドライスワブを 5cm 程度腔内に挿入し、10～30 秒間静かに回転させる。

- ・ 粘膜を傷つけないようにご注意ください。
- ・ 強く押してスワブが折れないようにご注意ください。

2



ドライスワブを
抜き取る



スワブを容器に入れる

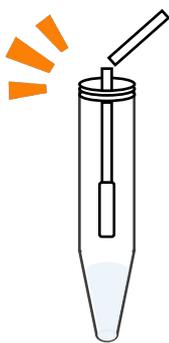
スワブの先端が確実に腔の内壁に触れていることを確認し、抜き取る。抜き取り後にスワブを検体輸送液入り容器に入れ、懸濁する。

- ・ 輸送液がこぼれないようにご注意ください。
- ・ 採取後のスワブはどこにも触れないよう容器に入れてください。

3

スワブの軸の
部分を折る

容器のキャップを閉める



スワブを折り、密閉する

柄部分を適当な箇所折り、採取部が輸送液に浸かった状態でキャップを閉める。

- ・ スワブを入れてから蓋を閉めてください。スワブが入っていないと検査できません。
- ・ 折ったスワブの軸は廃棄してください。



容器を返送用袋に入れて、封を確実に閉める。吸水シートは袋から取り出さないでください。

検体採取上の注

- ・ **意** キット付属のドライスワブ以外は使用しないでください。
- ・ 検体に大量の血液が混入した場合は正しい結果が得られない事があります。
- ・ 検体保存液は捨てないでください(検体保存液が少ないと正しい結果が得られない事があります)。
- ・ 腔検体を採取する前にドライスワブを検体保存液に浸さないでください。
- ・ 検体保存液の飛散には十分ご注意ください。
- ・ 検体を採取したスワブは速やかに検体保存液に入れてください。
- ・ 検体保存液は絶対に凍結しないでください。
- ・ 検体採取キットは 1回用です。繰り返し使用しないでください。